

いしかわ学校版環境 I S O の取り組みについて

今日の環境問題は、私たちの日常生活や通常の事業活動による水質汚濁や廃棄物の増大など身近な問題から、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模の問題にまで及んでいます。

このような環境問題を解決するために、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄物型の社会経済システムや私たちのライフスタイルを見直して、環境への負荷のより少ない循環型社会を構築していくことが求められています。

そのためには、一人ひとりが自主的かつ積極的に環境保全活動に取り組むことが重要になってきます。

このため、本校でも、日々の学校生活において、身近なところから積極的に環境保全活動に取り組んでいきたいと思えます。

◇本校における環境保全活動への取り組み（生徒が取り組むこと）

電気使用量の削減

- ①教室・トイレの電気は、こまめに消す。（教室を空けるときは、必ず消灯する）
- ②放課後の教室自習時における分別消灯。

ゴミ排出量の削減・リサイクル

1 ゴミ処理の 3 R 運動の推進

- ①Reduce（減らす） → ゴミの持ち帰り（校外から持ち込んだゴミを持ち帰る）
- ②Reuse（再使用） → 裏紙を積極的に使用する。
- ③Recycle（再生利用） → 分別の徹底。
（一般ゴミ、プラスチックゴミ、資源ゴミ、非資源ゴミの分別）

* エコマーク商品等の環境にやさしい紙・文房具を使用する。

2 水使用料（水道使用料）の削減

- ①水道の蛇口は確実に締めるなど節水に心がける。
- ②トイレでは擬音発生装置使用により水道使用料の削減を図る。

3 紙使用量の削減

- ①使用済み用紙の裏紙を利用する。
- ②プリント類は安易に捨てない。

ゴ	◇	一般ゴミ	→	250円
ミ	◇	ビン・缶類	→	210円
袋	◇	ペットボトル	→	420円
900				

ゴミ持ち帰りについて、ご理解、ご協力お願いします

*学校外から持ち込んだ物（ゴミ）は各自が責任を持って持ち帰る。
（部活関係も同じく持ち帰りで、特別な物については要相談）

*学校内から出たゴミは校内のゴミ箱に捨てる。（要分別！）

- 例
- ・購買のパンの袋 → 教室のプラ専用ゴミ箱
 - ・購買のランチ容器 → 購買横のランチ専用ゴミ箱
 - ・自販機ジュースパック → 自販機横のパック専用ゴミ箱又は教室の専用ゴミ箱
 - ・使用済みティッシュ → 可燃物のゴミ箱（ポケットティッシュの袋はプラ）
 - ・雑誌・書籍類 → エコセンターの指定場所（ひもで束ねて）
 - ・段ボール箱 → エコセンターの指定場所（折り畳んで）
 - ・書道の半紙 → 可燃物のゴミ箱

I S O とは？

I S O とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）の略称で、世界共通の規格・基準を制定している民間の組織のことです。I S O とは、世界共通の決まりごとともいえます。